



壱岐高便り

第148号

発行責任者
山口 千樹



携帯
サイトへ

長崎県立壱岐高等学校

長崎県壱岐市郷ノ浦町片原触88

[TEL]0920-47-0081

[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言

「分断の時代を考える」

校長 山口 千樹



昨年、スウェーデン・アカデミーは「彼の作品が、世界とつながっているという幻想的な感覚にひそむ深淵をあらわにしている」という理由で、ノーベル文学賞にカズオ・イシグロ氏を選びました。EU崩壊の危機に直面したヨーロッパ人の「分断」への不安が根底にあるのでしょうか。イシグロ氏は、英国のEU離脱を明確に批判しましたし、最新作「忘れられた巨人」は、分断と統合、憎悪と愛、記憶と忘却をテーマとして扱いました。また、受賞インタビューでは「分断を埋める仕事をしたい」とも語っています。

確かに、SNSなどで繋がっている人間関係は、面と向かったものより希薄でしょうし、一国主義を掲げる大統領が登場するなど、グローバル化も曲がり角にあるように思えます。

しかし、IoTやAIに代表されるように、情報化はますます進展し、後戻りするはずがありません。政治的関係がよくないとされる中国は日本の最大の貿易相手国ですし、対馬市を訪れる韓国人観光客は年々増加しています。このように、実際の社会は「分断」とはほど遠い状態です。また、イシグロ氏の作品でも、結論めいたことはなく、「分断か統合か、よく考えて自分で決めなくてはならない」としています。

これらのことを総合すると、いたずらに「分断」をあおっているマスコミの情報を無批判に信じることは誤りです。イシグロ氏の言葉を借りるまでもなく、未来を生きる皆さんは、情報の真偽を確かめながら、自分の頭で考え・判断していくことが大切なのです。

3年生が卒業すると、1・2年生が学校の中心です。考える壱岐高校をさらに発展させてください。



←文学賞発表の様子

各学年団から

第 3 学 年 よ り

70回生の入学時に「長いようで短い1059日の高校生活を、全力で頑張らせます」と学年主任挨拶で、保護者の皆様に誓ったことを思い出します…。1年次は“*Discovering the Future*”をキャッチフレーズに、直後の新入生研修合宿や夏の学習合宿を経験し、夢を追い求める土台を築きました。2年次は“*Challenge Your Limits*”。中だるみをせずに、限界を超えるべく挑戦を続けて欲しいと願い、学習を中心に上級生引退後の部活動、文化祭、修学旅行など積極的に挑戦を促しました。3年次は“*Innovators 70*”。自身の進路決定の年であること、70回生という節目の年でもあることを念頭に、先例や既存の価値観にとらわれず、文字通り「改革者」であって欲しいと願ったのがその由来です。70回生は最後の高総体や体育祭を通じて成長を重ね、就職・進学試験にも果敢に挑戦しました。多少の背伸びもありますが、失敗なくして挑戦なし。国公立大学前・中・後期入試に對峙し、現状を打破するための取り組みを続けています。これまで1059日間の壱岐高校での経験は、生徒の現在だけにとどまらず、一生を支える礎になっていくのだと確信しています。

さて、70回生が飛び込もうとしている世の中は、少子高齢化と産業の成熟という社会背景のもと、インターネット関連技術が世界の全産業を飲み込もうとしている未知なる社会です。こう考えるといかにも不安な世の中ですが、いつの時代にも問題は山積していたのです。70回生が時代を先読みし、しなやかに、そして積極的に難題に挑戦するような人材として「飽くなき改革者」であり続けることを願っています。

祝、卒業。

第 2 学 年 よ り

大雪など想定外の自然災害のご心配をいただきましたが、第2学年71回生は、修学旅行を無事に終えることができました。ありがとうございました。貴重な体験を経て生徒たちは成長したことと思います。特にスキー研修では皆が臆することなく、初めての体験であっても積極的に、楽しく取り組んでいたことが印象的でした。この経験から、やり遂げた達成感をこれからも持ち続け、「やればできる」を実践した事を自信にこれからの生活に生かして欲しいと期待しています。

第 1 学 年 よ り

学年末考査も終わり、1年生もあと1ヶ月となりました。3月1日の卒業式では、お世話になった70回生の先輩方への感謝の気持ちを込め、気持ちよく送り出してほしいと思います。

先日、普通コースの「総合的な学習の時間」では、課題研究である『壱岐を活性化させるプラン』の発表会が行われました。生徒達は「水産業」「医療・介護」「保育・教育」「商工・金融」「農業」の5つの分野に分かれ、各分野の選考会で選ばれた代表が、壱岐の抱える問題点や課題を独自の視点で、どうすれば改善できるか、それを解決するための様々なプランを発表しました。何より、故郷に関心を持ち、何かできないかを模索するその姿は、壱岐の将来を担う者として大変喜ばしく、頼りに思える光景でした。きっとこの島の明るい未来を創ってくれることでしょう。

1年 総合的な学習の様子↓



2年 修学旅行の様子↓



各分掌から

生徒指導部より

第70回生の皆さん、いよいよ卒業式ですね。3年前、入学した時に思い描いた人物へと成長できましたか。私は、高校3年間で「粘り強さ」や「計画力」、「志を貫く、ブレない自分の軸（芯）」を身につけることができました。どのような成長ができたのか少し考えてみてください。頭に浮かんだ言葉たちが、これからのあなた自身を支える力となります。あなたの将来は、あなた自身が作っていきます。チャンスは掴み取れるか否かさえも、あなたの姿勢にかかっています。つまり、「可能性は自分次第」なのです。

努力が全て報われるわけではありません。より努力した人によって、その努力を覆されることもあります。しかし、「成功を掴み取った人は皆、努力している。」のです。Innovator's あなた次第で、変わるものがあります。挑戦し続けてください。

「心が変われば行動が変わる 行動が変われば習慣が変わる 習慣が変われば人格が変わる 人格が変われば運命が変わる」

進路指導部より

2月25日に行われた国立大学前期試験の合格発表が3月3日から始まり、続いて中期試験が8日、後期試験が12日から実施されます。私立大学の入試もほぼ終了し、いよいよ受験も終盤戦となりました。3月1日には卒業式を迎えますが、中・後期試験を受験する生徒のために、引き続き「特編Ⅲ」講座を組んでサポートしてまいります。まだ思うように結果が出ていなくても、合格を勝ち取るまで粘り強くチャレンジを続けてください。

1・2年生は学年末考査も終わり、対外試験は1年生が受験する3月10日の「スタディーサポート」を残す

のみとなりました。これは、国・英・数の基礎学力の到達度を測ると同時に、学校や家庭における自身の学習状況を見つめ直すためのものです。2年生の皆さんは進路実現が叶うよう受験に向けたスタートダッシュを切りましょう。

いずれの学年においても、次年度の成功は4月からの頑張り方ではなく、3月の締めくくり方が鍵を握っています。これまで積み重ねてきた学習を磐石のものにするためには復習が必要です。次のステージに上がる前に、しっかり「助走」をつけましょう。3月15日には、進路実現を果たした3年生による「卒業生体験発表会」が行われます。先輩の生の体験を聞き、1・2年生の皆さんが「インスパイア」されることを期待します。

生徒会・美化部より

平成30年3月6日～18日に、彦岐在住の高校生が文化活動を発表する場である「壺州祭」が一支国博物館で開催されます。

本校の美術部・書道部・写真部・郷土研究部・科学部は作品を1階テーマ展示室にて展示し、吹奏楽部・放送部は3月4日に3階多目的ホールにて開催されるイベントに参加します。

本校の文化部は、体育部と同様に、熱心に活動に取り組み各種大会で優秀な成績を収めています。入場は無料です。生徒の皆さんはもちろん、保護者の方々にも、文化部の生徒たちの日頃の活動の成果をご覧くださいと思います。



壺州祭 第五回 彦岐祭

展示
1階テーマ展示室
壺州祭
彦岐祭
美術部
書道部
写真部
郷土研究部
科学部
吹奏楽部
放送部

平成30年 3月6日(火) ~ 3月18日(日)
8時45分開場(17時30分開場)
【参加費】無料
※詳細は各団体ホームページを参照してください。

イベント
3階多目的ホール
壺州祭
彦岐祭
平成30年 3月4日(日)
14時開演(13時30分開場)

会場
彦岐高等学校
支国博物館
〒11-3322 彦岐市彦岐町(支国博物館1階展示室)
彦岐高等学校 彦岐市彦岐町 彦岐高等学校 彦岐市彦岐町 彦岐高等学校 彦岐市彦岐町 彦岐高等学校 彦岐市彦岐町

主催 彦岐高等学校 彦岐高等学校 彦岐高等学校 彦岐高等学校 彦岐高等学校 彦岐高等学校 彦岐高等学校 彦岐高等学校 彦岐高等学校 彦岐高等学校

蔡先生コラム 『文化旅行』

今回は皆さんに中国の正月料理を紹介しました。今回は中国の元宵節を紹介したいと思います。元宵節は旧暦1月15日(今年は3月2日)、新年の初の満月の日です。これは正月を祝うための最後のイベントです。この日は必ず「元宵(げんしょう)」というものを食べます。

元宵の作り方は南方と北方では違います。北方の元宵は砂糖、ゴマ、胡桃、ナツメなどを混ぜ合わせたアンを丸め、餅の粉の上で雪だるまのように転がして作ります。そしてゆでるか油で揚げて食べます。南方の元宵は「湯円」と言います。湯円はもち米を原料とした団子であり、中には様々な具が入れられます。甘いものとしては砂糖、胡桃、ゴマ、小豆餡などが、塩辛いものとしては肉や野菜で作られた具が入れられます。また、元宵節には提灯を観賞します。灯籠や提灯の上になぞなぞを書きます。これも元宵節の伝統的な遊びです。



彦岐高Topics!

3月行事予定

①1年 ②2年 ③3年

「大石一久先生特別講義」

2月21日(水)、石造物研究家の大石一久先生をお招きして、特別講義を行っていただきました。大石先生は長崎県の高校教師として教壇に立ったあと、長崎歴史文化博物館調査グループリーダーを経て、来年度より大浦天主堂キリシタン博物館副館長をお務めになります。石造物研究家として数多くの研究成果を持ち、最近では、豊臣秀吉の政権下でヨーロッパに旅立った『天正遣欧使節』の千々石ミゲル夫妻の墓を発見し、全国紙を賑わせました。また、TBS「世界・ふしぎ発見!」にも出演され注目を浴びていらっしゃいます。

講義は千々石ミゲルの墓の発掘をもとに「千々石ミゲルは本当は棄教などしていないのではないか」「秀吉の対キリスト教政策は正しいのではないか」など、現状の歴史認識への問いを生徒になげかけていただき、歴史との対話をとおした深い学びに、生徒は目を輝かせ、熱心に取り組んでいました。

探求的な学びに取り組む、大変貴重な成長の機会となりました。



東アジア歴史・中国語 コース

「全国高校生中国語発表会 優勝!」

2月3日(土)、北陸大学で開催された第3回全国高校生中国語発表会において、中国語専攻2年の仲野文也君が中級リーディング部門で優勝を果たしました! 2年生での全国優勝獲得は本校初の快挙。3年生が築いてきた伝統がまさしく次の世代に受け継がれました! ご声援いただきました皆様、いつも本当にありがとうございます! 中国語専攻は、益々の決意で前進して参ります。今後とも何卒、よろしく願いいたします!

1	木	卒業証書授与式 夏時間開始 特編Ⅲ期開始	
2	金	体力テスト・身体測定①②	
3	土	★①②	
4	日		
5	月		SC
6	火	高校入試準備作業 特編Ⅲ期終了	
7	水	【生徒自宅学習】	
8	木	【生徒自宅学習】 国公立大中期試験	
9	金	【生徒自宅学習】	
10	土	スタディサポート①	
11	日		
12	月	45分短縮授業 国公立大後期試験	SC
13	火		
14	水		
15	木	高校入試合格発表 LHR(卒業生体験発表)	
16	金	高校入試合格者説明会	
17	土		
18	日		
19	月		SC
20	火	LHR(百人一首)	
21	水	【春分の日】	
22	木	校内球技大会	
23	金	終業式 大掃除 離任式	
24	土	HSK②	
25	日	中国語検定①②	
26	月		
27	火		
28	水		
29	木		
30	金		
31	土		



3年生として後輩を牽引してくれた久田君(左)と今回見事優勝を勝ち取った2年仲野君(右)